



DX/新しい介護

～生産性向上推進体制加算と取り組み両立のポイント～

株式会社チャーム・ケア・コーポレーション

01

会社概要

02

生産性向上・介護DX推進のはじまりとこれから

03

生産性向上推進体制加算の説明

04

生産性向上の取組の実際

05

質問・サポート案内

01

会社概要

02

生産性向上・介護DX推進のはじまりとこれから

03

生産性向上推進体制加算の説明

04

生産性向上の取組の実際

05

質問・サポート案内

大野 世光（おおの ひろみつ）

(株)チャーム・ケア・コーポレーション 教育研修部副部長/介護DX推進課長

2000年～ 特別養護老人ホームらくらく苑 入社 介護職員/介護主任

2008年～ 株式会社アミーユ（現SOMPOケア） 入社 ケアマネジャー/ホーム長/SV

2017年～ (株)チャーム・ケア・コーポレーション 入社 ホーム長/教育研修/介護DX



Company Overview

[会社情報]

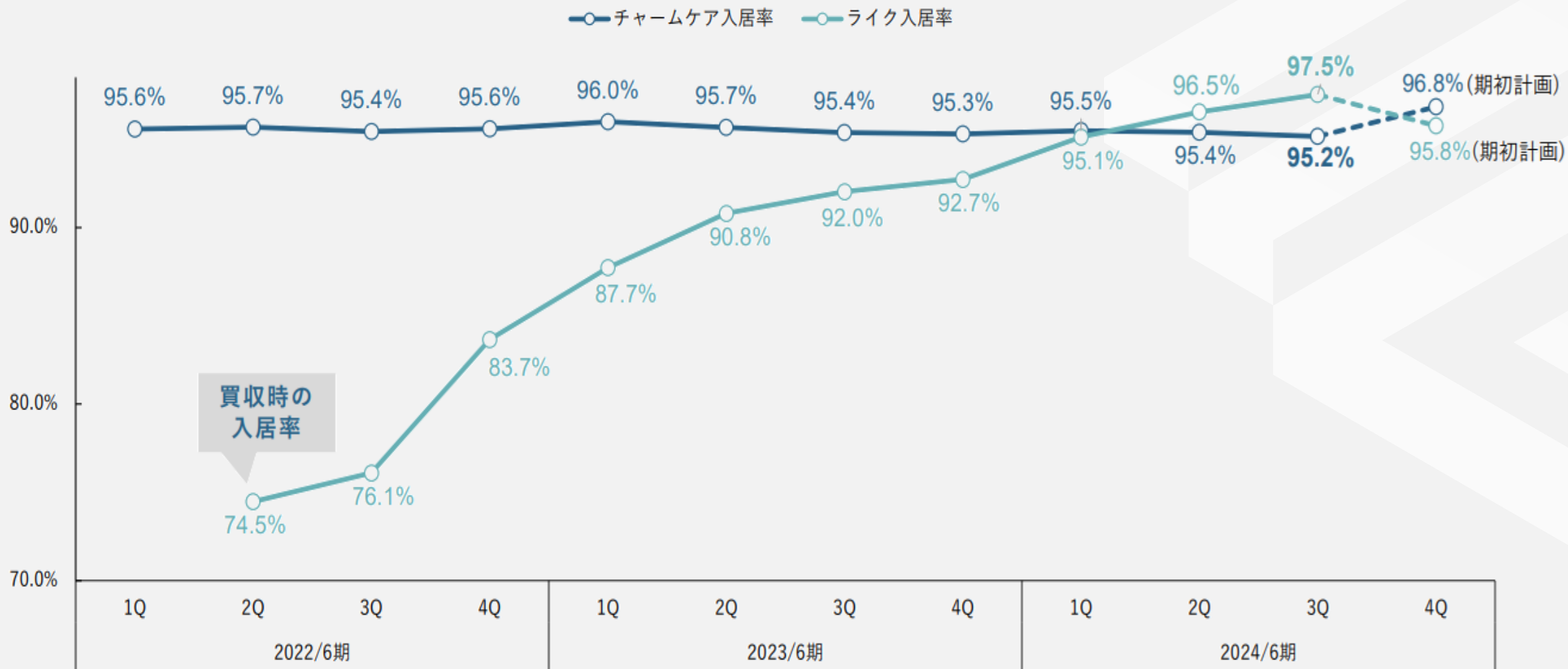
会社名	株式会社チャーム・ケア・コーポレーション
代表者	代表取締役会長兼社長 下村 隆彦
上場市場	東京証券取引所プライム市場
決算期	6月
本社所在地	大阪本社：大阪市北区中之島3丁目6番32号 東京本社：東京都渋谷区渋谷3丁目28番15号
事業内容	有料老人ホーム等の運営(介護事業) 有料老人ホーム等ヘルスケア不動産の開発(不動産事業)等
資本金	27億5,925万円
発行済株式数	32,712,000株(内、自己株式数82,628株)
従業員数	約3,000名(パート・嘱託・派遣社員含む)

2023年6月30日時点

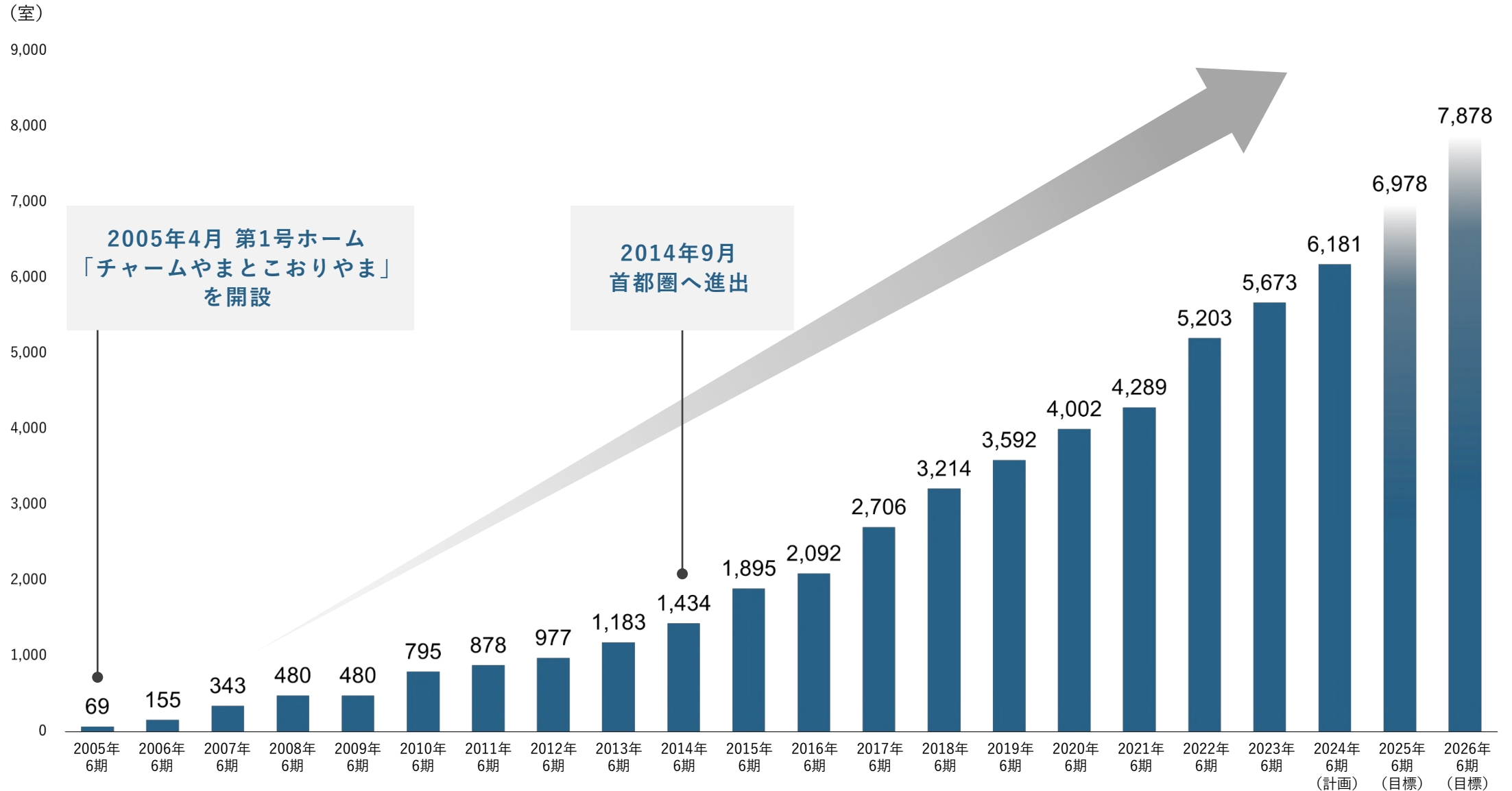
■ 連結業績

(単位：百万円)

	FY2023 3Q	FY2024 3Q	前年同期比
売上高	22,486	29,584	+ 31.6% (+7,097)
営業利益	1,368	2,478	+ 81.1% (+1,109)
経常利益	1,776	2,863	+ 61.2% (+1,086)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,139	1,859	+ 63.1% (+719)



ホーム居室数の推移





01

会社概要

02

生産性向上・介護DX推進のはじまりとこれから

03

生産性向上推進体制加算の説明

04

生産性向上の取組の実際

05

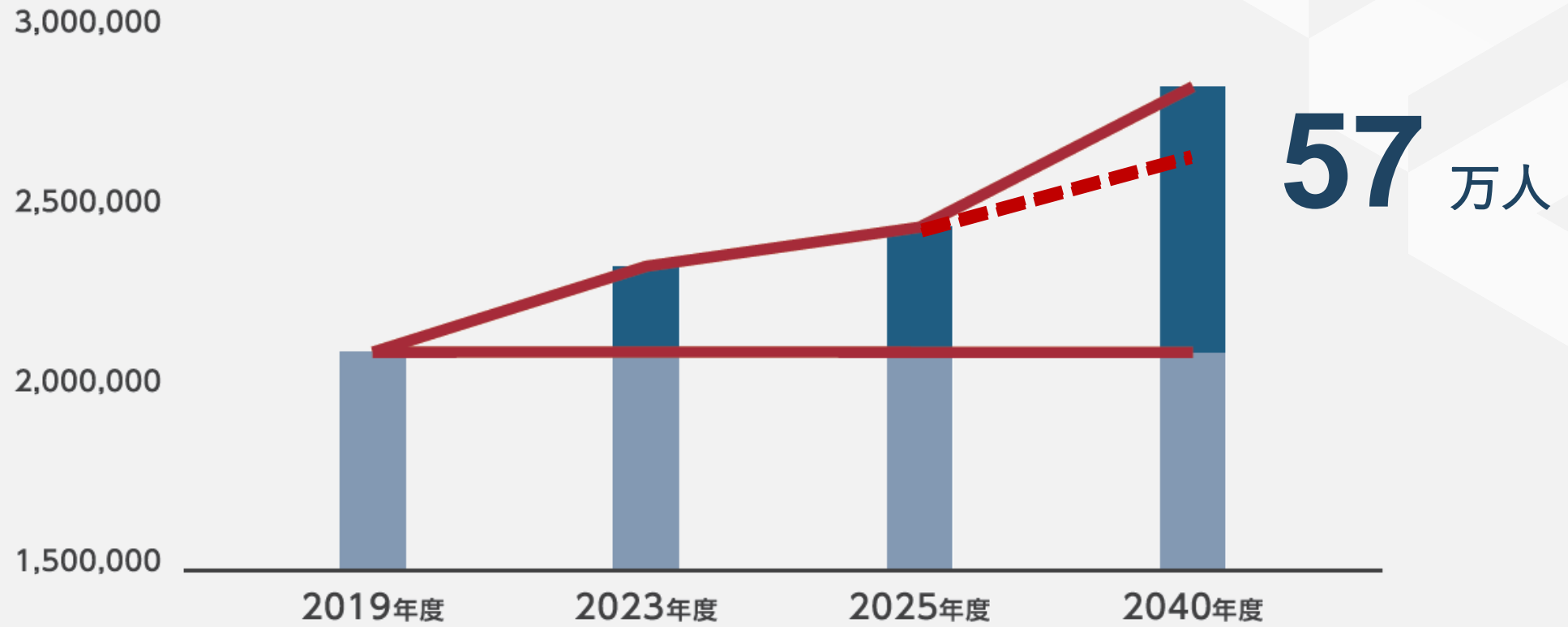
質問・サポート案内

Take home message

- **複雑に見えるが、前向きな取り組みを実践することで算定可能**
- **生産性向上の取組効果を確認するのは、加算 I 届け出のタイミング**
- **加算 I 年度報告の準備を行うことが重要**
- **デジタル活用で調査・集計作業を効率化し「生産性向上のために生産性低下」を防止**
- **当社の豊富なノウハウで加算取得・生産性向上のご支援を行います**

介護職員不足

2025年度…32万人、2040年度…70万人



■ 2019年度の介護職員数
■ 全国での不足数

出典：厚労省 第8期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について

これまでの生産性向上の取り組み

2017年

生産性向上 元年

業務スケジュール＆記録システム導入

業務スケジュール可視化 ～2年で全拠点の標準オペレーションへ～

2021年

生産性向上本格化

業務スケジュール活用深化 & 介護ロボット導入本格化

2022年

介護DX推進課創設

厚労省：介護ロボット等による生産性向上実証事業
(2022年・2023年・2024年)

2024年

生産性向上推進体制加算Ⅱ・Ⅰ算定開始

生産性向上推進体制加算 & 特定施設の人員配置柔軟化の創設

過去

業務スケジューラー&記録システム 導入

知識・勘所・経験の差



業務見える化・平準化

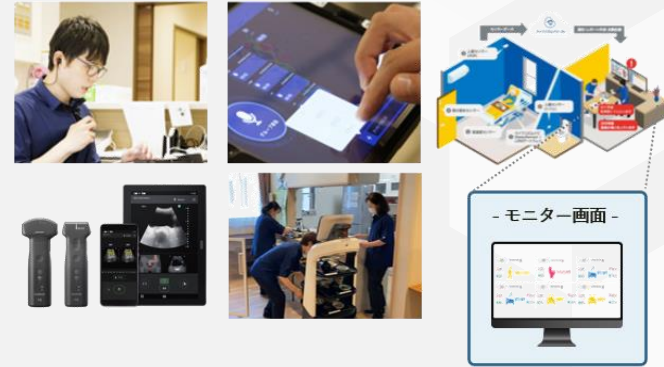


生産性
UP!



現在

介護Tech 導入



生産性
UP!



未来

データ活用



生産性
UP!



01

会社概要

02

生産性向上・介護DX推進のはじまりとこれから

03

生産性向上推進体制加算の説明

04

生産性向上の取組の実際

05

質問・サポート案内

【今回のストーリー】

1. 介護Tech導入 (1点)
2. 生産性向上委員会の設置・開催
3. **生産性向上推進体制加算Ⅱの算定**
4. 介護Tech導入 (3点セット)
5. 介護オペレーションの見直し
6. **加算Ⅱ 効果測定**
7. **生産性向上推進体制加算Ⅰの算定**
8. 年度報告

※本資料は以下、留意事項・通知をもとに当社が独自に作成したものです。

指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準（短期入所サービス及び特定施設入居者生活介護に係る部分）及び指定施設サービス等に要する費用の額の算定に関する基準の制定に伴う実施上の留意事項について

老高発 0329 第 1 号 令和 6 年 3 月 29 日 「生産性向上推進体制加算に関する基本的考え方並びに事務処理手順及び様式例等の提示について」及び「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準」等における生産性向上に先進的に取り組む特定施設等に係る人員配置基準の留意点について」の改正について

1. 介護Tech導入 (1点)

見守り支援機器



インカムorチャット



記録システム

時間	開始時刻	所要時間	利用者	予定	備考
7:00	07:00	10	ホーム	始業準備	
	07:10	3	ホーム	申送り	
	07:13	3	ホーム	新聞お渡し	
	07:16	2	220	口腔介助	
	07:18	2	220	着替え介助	
	07:20	5	220	トイレット	
	07:25	5	ホーム	配茶準備	いつもと比べて、足の踏ん張りが不安定
	07:30	2	複数名(0/4)	配茶	
	07:50	5	ホーム	配茶	
	07:55	10	ホーム	配膳	
	8:00	08:05	10	ホーム	下膳
	08:15	1	複数名(0/14)	内服薬を出す	

部署	氏名	合計	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
201		尿: 4回 便: 4回前				尿: 1			尿: 1
202		尿: 0 便: 3回前							
203		尿: 0 便: 3回前							
204		尿: 0 便: 1回							
205		尿: 4回 便: 1回				尿: 1			
206		尿: 0 便: 1回前							
207		尿: 4回 便: 1回前					尿: 1		
208		尿: 0 便: 1回							

2. 生産性向上委員会の設置・開催

開催頻度：3か月に1度

参加者：管理者・ケアを行う幅広い職員・職種

検討事項

(1) 利用者の安全及びケアの質の確保

- ①見守り機器のログ・通知情報を活用した多職種連携したケアにより
利用者の状態維持を確認
- ②状態変化等を踏まえた介護ロボットの活用方法の変更の必要性を検討
- ③見守り機器を活用した安否確認は、必要に応じて定時巡回の実施を検討
- ④介護機器の使用に起因する介護事故・ヒヤリ・ハット事例の状況把握、
原因分析、再発防止の検討

(2) 職員の負担の軽減及び勤務状況への配慮

- 以下項目を職員アンケートorヒアリング確認、適切な人員配置や処遇改善の検討
- ① ストレスや体調不安等、職員の心身の負担の増加の有無
 - ② 職員の負担が過度に増えている時間帯の有無
 - ③ 休憩時間及び時間外勤務等の状況

(3) 介護機器の定期的な点検

- ① 日常業務中、時間を決めて介護機器の不具合点検
- ② 介護ロボットメーカー等と連携した、定期点検の実施

(4) 職員に対する研修

介護機器の使用方法・ヒヤリ・ハット事例等の把握と、周再発防止策講習会の定期開催。

※加算（I）のみ：適切な役割分担による業務効率化に必要な研修の定期開催

生産性向上委員会 会議録														
開催場所	ハイブリッド(オンライン・集合)						報告者名(職位)	(ホーム長)						
開催日時	2024年		7月		10日		16時		0分		～		時 分	
出席者 社員番号	4519	9999	7777	6666										
出席者 氏名	朱藤 孝次郎	日向 小次郎	店末 麻子	竹ノ内 豊										
出席者 社員番号														
出席者 氏名														
欠席者 社員番号	1234	2345	3456	4567	5678	6789								
欠席者 氏名	大谷 翔平	鈴木 一朗	松井 秀喜	本田 圭佑	三浦 知良	香川 良司								
欠席者 社員番号														
欠席者 氏名														
今期取り組み計画: [Redacted]														
委員会会議録データ: [Redacted]														
会議の要点・概要														
1. ご入居者様の安全及びケアの質の確保 1) 見守り機器等の情報から、利用者等の状態の変化を確認 2) ご入居者様の状態変化に合わせて、介護機器の活用方法変更を検討 3) 見守り機器を活用した安否確認で問題のあるご入居者様は、ないか。 4) 介護機器由来の介護事故 ヒヤリ・ハット事例の有無 状況を把握・原因分析・再発の防止策の検討														
2. スタッフの負担の軽減及び勤務状況への配慮 1) スタッフアンケート結果URL 2) CSE業務管理表または勤務シフトの調整必要性を検討														
3. 介護機器の定期点検 1) 月次機器点検結果 URL: 不具合対応ステータス a. b. c.														

3. 生産性向上推進体制加算Ⅱの算定

NO	要件	項目	要点
1	機器導入	(1) 見守り機器 (全室) (2) インカムorチャットツール (3) 介護記録ソフト いずれか1つ	(1) は入居者または家族へ説明同意必要
2	生産性向上委員会	(1) 利用者の安全及びケアの質の確保 (2) 職員の負担の軽減及び勤務状況への配慮 (3) 介護機器の定期的な点検 (4) 職員に対する研修について	3か月に1度開催し、事業所内多職種の参加が必要
3	年度報告	(1) 利用者満足度等調査 (2) 総業務時間 及び 超過勤務時間 (3) 年次有給休暇の取得状況調査	実態報告のみ

[2. 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準 \(短期入所サービス及び特定施設入居者生活介護に係る部分\) \(mhlw.go.jp\)](http://mhlw.go.jp)

[240329表紙 事務連絡 \(都道府県、市町村、介護保険関係団体\) 高齢者支援課 \(mhlw.go.jp\)](http://mhlw.go.jp)

4. 介護Tech導入 (3点セット)

見守り支援機器



インカムorチャット



記録システム

時間	開始時刻	所要時間	利用者	予定	備考
7:00	07:00	10	ホーム	始業準備	
	07:10	3	ホーム	申送り	
	07:13	3	ホーム	新聞お渡し	
	07:16	2	220	口腔ケア	
	07:18	2	220	着替え介助	
	07:20	5	220	トイレ誘導	いつもと比べて、足の踏ん張りが不安定
	07:25	5	ホーム	配茶準備	
	07:30	2	複数名(0/4)	配茶	
	07:50	5	ホーム	配茶	
	07:55	10	ホーム	配膳	
	8:00	08:05	10	ホーム	下膳
	08:15	1	複数名(0/14)	内服薬を出す	

部署	氏名	合計	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
201		尿:4回 便:4回前				尿:1			尿:1
202		尿:0 便:3回前							
203		尿:0 便:3回前							
204		尿:0 便:1回							
205		尿:4回 便:1回				尿:1			
206		尿:0 便:1回前							
207		尿:4回 便:1回前					尿:1		
208		尿:0 便:1回							

5. 介護オペレーションの見直し

- (1) 業務の細分化・平準化
- (2) 利用者の介助に集中できる時間帯を設ける
- (3) 介護助手の活用
- (4) 介助を伴わない業務の外注

6. 加算Ⅱ 効果測定

7. 生産性向上推進体制加算Ⅰの算定

パターン	要件概要	調査方法
加算（Ⅰ）へ移行 ※加算（Ⅱ）取組を3か月以上継続した成果	① 利用者調査結果が、取組後に悪化していない ② 介護職員の総業務時間・超過勤務時間が短縮 ③ 有給休暇取得が取組後に維持又は増加	① 利用者5名程度 ② プランA：10月の前年比較 プランB：取り組み期間3か月前後比較 ③ プランA：10月の前年比較 プランB：取り組み期間3か月前後比較
加算（Ⅰ）へ移行 ※本加算の2024年4月以前から生産性向上の取組に着手している場合	① 利用者ヒアリングにおいて、本取組による悪化がないことを確認、委員会で共有 ② 介護職員の総業務時間・超過勤務時間が短縮 ③ 有給休暇取得が取組後に維持又は増加	① 利用者5名程度 ② プランA：10月の前年比較 プランB：取り組み期間3か月前後比較 ③ プランA：10月の前年比較 プランB：取り組み期間3か月前後比較

2. 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準（短期入所サービス及び特定施設入居者生活介護に係る部分）（mhlw.go.jp）

240329表紙 事務連絡（都道府県、市町村、介護保険関係団体）高齢者支援課（mhlw.go.jp）

加算Ⅱの効果を根拠に 加算Ⅰ届出

8. 年度報告

加算Ⅱ 調査報告

利用者向け調査票 別添1

施設名 利用者番号 記入日

年月日

1. 対象利用者概要

性別	1: 男 2: 女	年齢	才
要介護度	1: 要介護1 2: 要介護2 3: 要介護3 4: 要介護4 5: 要介護5 6: 自立・要支援 7: その他(要支援・区分申請中等)		

2. 対象利用者の生活・認知機能尺度

1-0 身近なもの(たとえば、メガネや入れ歯、財布、上着、鍵など)を置いた場所を覚えていますか
※介護者が一緒に探しているなど、一人で探す様子が分からない場合は、もし一人で探すとしたらどうかを想定して評価してください

5 常に覚えている

4 たまに(週1回程度)忘れることはあるが、考えることで思い出せる

3 思い出せないこともあるが、きっかけがあれば自分で思い出すこともある(思い出せること思い出せないことが同じくらいの頻度)

2 きっかけがあっても、自分では置いた場所をほとんど思い出せない

1 忘れたこと自体を認識していない

1-0 身の回りに起こった日常的な出来事(たとえば、食事、入浴、リハビリテーションや外出など)をどのくらいの期間、覚えていますか※最近1週間の様子を評価してください

5 1週間前のことを覚えている

4 1週間前のことは覚えていないが、数日前のことは覚えている

3 数日前のことは覚えていないが、昨日のことは覚えている

2 昨日のことは覚えていないが、半日前のことは覚えている

1 全く覚えていられない

② 現在の日付や場所等についてどの程度認識できますか
※上位レベルのことで下位レベルのことが両方でき、上位と下位の間の項目ができない場合には、上位レベルのほうを選び回答してください 例: 1と3に該当し、2に該当しない場合⇒1を選択する

5 年月日はわかる(±1日の誤差は許容する)

4 年月日はわからないが、現在いる場所の種類はわかる

3 場所の名称や種類はわからないが、その場にいる人が誰かわかる(家族であるか、介護者であるか、看護師であるか等)

2 その場にいる人が誰かわからないが、自分の名前はわかる

1 自分の名前がわからない

利用者向け調査
(5名程度)

施設向け調査票(労働時間等調査票) 別添2

入職前など、1か月間のすべてで勤務がない場合は「-」と記載ください。

例: 令和5年

職員番号	●月		●月		●月		●月		●月		●月		年間の有給休暇の取得日数
	所定総労働時間	総実労働時間	所定総労働時間	総実労働時間	所定総労働時間	総実労働時間	所定総労働時間	総実労働時間	所定総労働時間	総実労働時間	所定総労働時間	総実労働時間	
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													

労働時間調査
(全介護職員)

8. 年度報告

加算Ⅱ 調査報告

別添3

施設名 職員番号 記入日

年 月 日

1. 職員概要

性別	1:男 2:女	年齢階級	10歳代 ・ 20歳代 ・ 30歳代 ・ 40歳代 ・ 50歳代 ・ 60歳代 ・ 70歳代～
役職	1:経営層 2:管理者・リーダー 3:一般職 4:その他()	現状の職種での経験年数	年 ヶ月

2. 心理的負担評価

※出典:心理的ストレス反応測定尺度(Stress Response Scale-18)

※この設問では、普段の心理的な状態についてお伺いします。それぞれ、あてはまるもの1つに○をつけてください。

	全くちがう	いくらかそうだ	まあそうだ	その通りだ
1 怒りっぽくなる	0	1	2	3
2 悲しい気分だ	0	1	2	3
3 なんとなく心配だ	0	1	2	3
4 怒りを感じる	0	1	2	3
5 泣きたい気持ちだ	0	1	2	3
6 感情を抑えられない	0	1	2	3
7 くやしい思いがする	0	1	2	3
8 不愉快だ	0	1	2	3
9 気持ちが沈んでいる	0	1	2	3
10 いらいらする	0	1	2	3
11 いろいろなことに自信がない	0	1	2	3
12 何もかもいやだと思う	0	1	2	3
13 よくないことを考える	0	1	2	3
14 話や行動がほどまらない	0	1	2	3
15 なぐさめて欲しい	0	1	2	3
16 根気がない	0	1	2	3
17 ひとりになりたい気分だ	0	1	2	3
18 何かに集中できない	0	1	2	3

3. テクノロジーの導入等によるモチベーションの変化

※この設問では、テクノロジーの導入等の前後のモチベーションの変化についてお伺いします。

	←減少したと感じる				増加したと感じる→			
1 テクノロジー導入等による、仕事のやりがいの変化	-3	-2	-1	0	1	2	3	
2 テクノロジー導入等による、職場の活気の変化	-3	-2	-1	0	1	2	3	

職員向け調査
(全介護職員)

NO	分類	Sub-NO	項目	記載例																			
				-	00分-09分	10分-19分	20分-29分	30分-39分	40分-49分	50分-59分	00分-09分	10分-19分	20分-29分	30分-39分	40分-49分	50分-59分							
A	直接介護(※1)	1	移動・移乗・体位交換	6																			
		2	排泄介助・支援																				
		3	入浴・整容・更衣																				
		4	利用者とのコミュニケーション																				
		5	日常生活自立支援(※2)																				
		6	行動上の問題への対応(※3)																				
		7	食事支援	4																			
		8	機能訓練・リハビリテーション・医療的処置																				
		9	その他の直接介護																				
B	間接業務	10	巡回・移動																				
		11	記録・文書作成・連絡調整等(※4)																				
		12	利用者のアシスト・情報収集・介護計画の作成・見直し																				
		13	見守り機器の使用・確認																				
		14	介護ロボット・ICT機器の準備・調整・片付け(※5)																				
		15	他の職員に対する指導・教育(※6)																				
		16	食事・おやつ・配膳・下膳等																				
		17	入浴業務の準備等																				
		18	リネン交換・ベッドメイク																				
		19	居室清掃・片付け																				
		C	休憩	20	消毒などの感染症対応																		
21	その他の間接業務(※7)																						
22	休憩・待機・仮眠																						
23	その他																						
24	余裕時間(実務でのケアや対応ができる状態)																						

タイムスタディ調査
(介護職員：日中2名 夜間2名 5日間)

01

会社概要

02

生産性向上・介護DX推進のはじまりとこれから

03

生産性向上推進体制加算の説明

04

生産性向上の取組の実際

05

質問・サポート案内

介護分野における
生産性向上ポータルサイト

介護分野における
「生産性向上」とは？



業務の改善活動の
支援・促し役



取組に活用可能な各種ツール

取組事例紹介

過去のイベント等

【自治体向け】取組の支援・
普及に向けた推進について

お知らせ

介護分野における
「生産性向上」とは？



業務の改善活動の
支援・促し役



取組に活用可能な各種ツール



取組事例紹介



過去のイベント等



【自治体向け】
取組の支援・普及に
向けた推進について



お知らせ



上位目的

介護の価値を高める

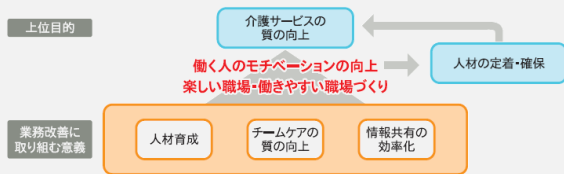
介護サービスの質の向上

働く人のモチベーションの向上
楽しい職場・働きやすい職場づくり

人材の定着・確保

業務改善に取り組む意義

人材育成 チームケアの質の向上 情報共有の効率化



取り組む意義

人材育成

チームケアの
質の向上

情報共有の
効率化

業務の改善活動

業務改善の取組

1 職場環境の整備

2 業務の明確化と役割分担

3 手順書の作成

4 記録・報告様式の工夫

5 情報共有の工夫

6 OJTの仕組みづくり

7 理念・行動指針の徹底

業務の可視化・課題把握

職種 シフト 時間	介護	介護	介護	介護	介護	介護	介護	看護	看護	介護稼働数	介護助手稼働数	看護稼働数	全稼働数
	早①	早②	早③	早④	遅①	遅②	遅③	看護	看護				
12:20	食事支援	食事支援	休憩・仮眠	休憩・仮眠				機能訓練	食事支援	0	0	2	7
12:30	食事支援	食事支援	休憩・仮眠	休憩・仮眠	食前・食後	食前・食後	食前・食後	機能訓練		5	0	2	7
12:40	食前・食後	食前・食後	休憩・仮眠	休憩・仮眠	食前・食後	食前・食後	食前・食後	機能訓練	待機	5	0	2	7
12:50	食前・食後	食前・食後	休憩・仮眠	休憩・仮眠	食前・食後	食前・食後	食前・食後		待機	5	0	2	7
13:00		入浴・整容	入浴・整容	入浴・整容	その他の用	その他の用	その他の用	休憩・仮眠	待機	7	0	1	8
13:10		入浴・整容	入浴・整容	入浴・整容	その他の用	その他の用	その他の用	休憩・仮眠	待機	7	0	1	8
13:20		入浴・整容	入浴・整容	入浴・整容	その他の用	その他の用	その他の用	休憩・仮眠	待機	7	0	1	8
13:30		入浴・整容	入浴・整容	入浴・整容				休憩・仮眠	待機	7	0	1	8
13:40		入浴・整容	入浴・整容	入浴・整容				休憩・仮眠	待機	7	0	1	8
13:50	移動・移送	入浴・整容	入浴・整容	入浴・整容	移動・移送	移動・移送		休憩・仮眠	待機	7	0	1	8
14:00	移動・移送	入浴・整容	入浴・整容	入浴・整容	移動・移送	移動・移送	休憩・仮眠	待機	休憩・仮眠	6	0	1	7
14:10	移動・移送	入浴・整容	入浴・整容	入浴・整容	移動・移送	移動・移送	休憩・仮眠	待機	休憩・仮眠	6	0	1	7
14:20	移動・移送	入浴・整容	入浴・整容	入浴・整容	移動・移送	移動・移送	休憩・仮眠	待機	休憩・仮眠	6	0	1	7
14:30	食事・おや	入浴・整容	入浴・整容	入浴・整容	食事・おや	食事・おや	休憩・仮眠	待機	休憩・仮眠	6	0	1	7
14:40	食事・おや	入浴・整容	入浴・整容	入浴・整容	食事・おや	食事・おや	休憩・仮眠	待機	休憩・仮眠	6	0	1	7
14:50	食事・おや	入浴・整容	入浴・整容	入浴・整容	食事・おや	食事・おや	休憩・仮眠		休憩・仮眠	6	0	1	7
15:00	食事・おや	入浴・整容	入浴・整容	入浴・整容		休憩・仮眠		機能訓練	機能訓練	6	0	2	8
15:10	移動・移送	入浴・整容	入浴・整容	入浴・整容		休憩・仮眠		機能訓練	機能訓練	6	0	2	8
15:20	移動・移送	入浴・整容	入浴・整容	入浴・整容		休憩・仮眠		機能訓練	機能訓練	6	0	2	8
15:30		入浴・整容	入浴・整容	入浴・整容	食前・食後	休憩・仮眠			待機	6	0	2	8
15:40		記録・文書	記録・文書	記録・文書		休憩・仮眠			待機	6	0	2	8
15:50		記録・文書	記録・文書	記録・文書		休憩・仮眠			待機	6	0	2	8
直接介護率	30.77%	59.62%	61.54%	63.46%	16.67%	24.07%	14.81%	25.93%	18.52%	35.28%			
間接業務率	15.38%	15.38%	17.31%	13.46%	22.22%	20.37%	14.81%	7.41%	5.56%	16.72%			
休憩・仮眠率	11.54%	11.54%	11.54%	11.54%	0.00%	11.11%	11.11%	11.11%	11.11%	8.03%			
余裕時間率	23.08%	7.69%	9.62%	11.54%	53.70%	38.89%	53.70%	46.30%	44.44%	36.12%			
業務稼働率	52.17%	84.78%	89.13%	86.96%	38.89%	50.00%	33.33%	37.50%	27.08%	56.55%			

介護DXの一例（業務改善プロセス）

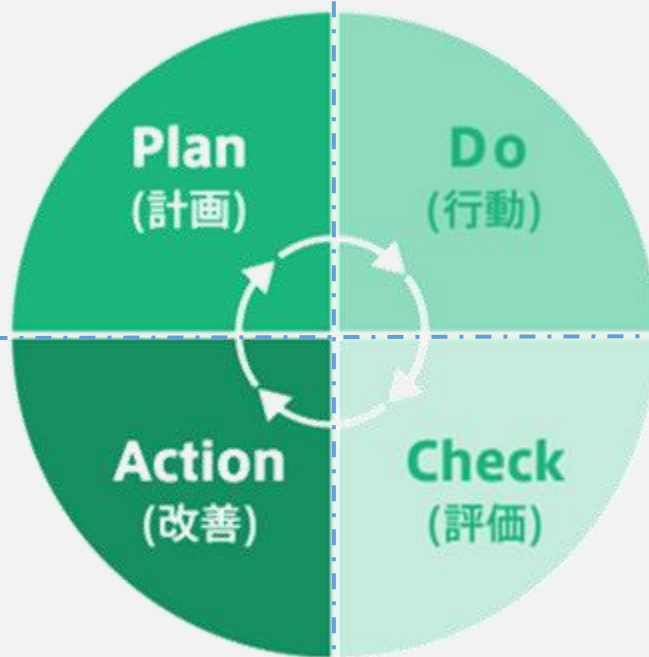
■計画（GOAL・見直し項目）

【スケジュール見直し計画】

- ・ 食事時間を変更(時間差スタート)
- ・ 配膳オペレーション見直し
- ・ 入浴時間変更
- ・ 排泄ケア見直し
- ・ 夜間良眠の取り組み

■導入・改革実施

- ・ インカム
- ・ 配膳ロボット
- ・ ポータブルエコー
- ・ 自動体位変換器
- ・ 見守り支援システム
- ・ 速乾ドライヤー
- ・ 夜間良眠パッド



■改善・結果

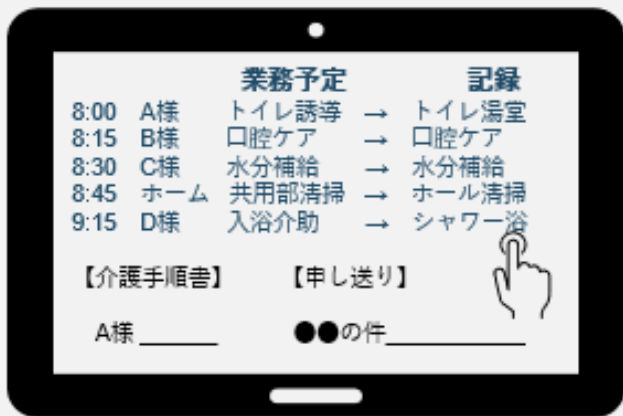
- ・ 介護時間の減少
- ・ スケジュールの修正、調整
- ・ 改革項目の品質チェック

■対話

- ・ 繰り返しの説明
- ・ 気づき、意見の吸い上げ
- ・ 意見とスケジュールの照合

介護Techを多数導入 生産性向上を促進

業務スケジュール可視化
介護記録デジタル化
2017年 導入済



インカム(アプリ型)

2023年 導入済



見守り支援機器

2024年6月 導入55%



配膳ロボット

順次展開中

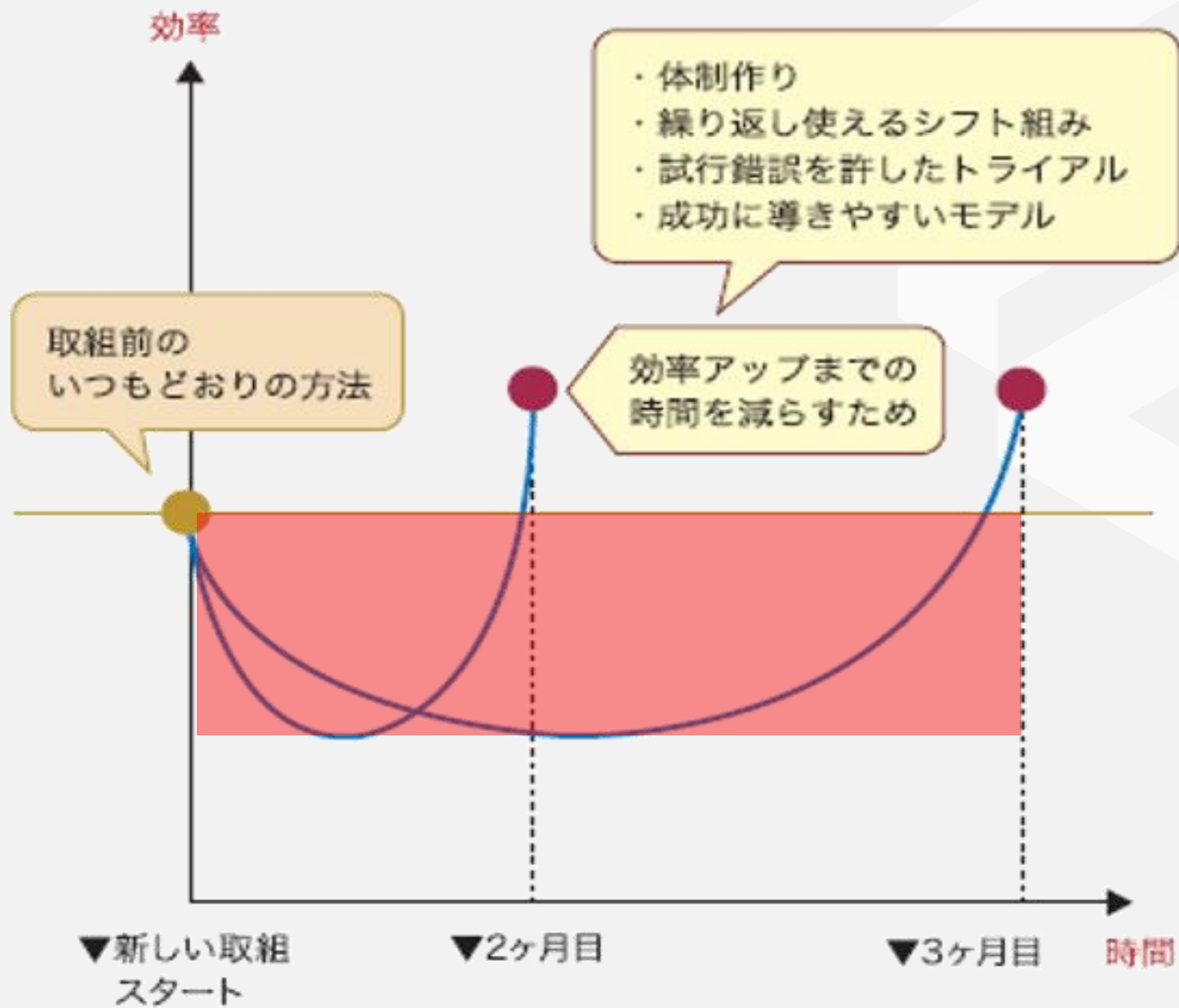


AIポータブルエコー

2024年8月導入済



U字の法則



✓ 新しい取組には試行錯誤がつきもの。調整コストなどが発生して一時的に効率が低下することが自然と知っておくことが重要

✓ 継続的なマネジメントで効率アップ(業務改善)につながる

01

会社概要

02

生産性向上・介護DX推進のはじまりとこれから

03

生産性向上推進体制加算の説明

04

生産性向上の取組の実際

05

質問・サポート案内

生産性向上の取組（加算）についてのご相談窓口

豊富な実績を活用した 取り組み支援（コンサルテーション）を承っております（無料・有料）

- 経営層/施設長様向け 収益改善（加算取得 含む）**
- 現場責任者様向け 生産性向上の取り組み**
- 収益改善と取り組み フルパッケージ**

【お問い合わせ】

株式会社チャーム・ケア・コーポレーション
介護DX推進課 大野 世光（おおの ひろみつ）

Tel : 0 6 - 6 4 4 5 - 3 3 8 9

Mail : charmccDX@charmcc.jp